

開催実施要項

本大会においては終日、無観客試合とする。
(選手・監督・引率責任者・補助役員以外の会場および会場付近の出入りを禁止する。)

- 1 大会名 令和2年度 福岡県高等学校弓道競技新人大会 南部ブロック予選会
兼 全九州高等学校弓道新人選手権大会 南部ブロック予選会
- 2 主催 福岡県高等学校体育連盟・福岡県教育委員会
- 3 後援 福岡県弓道連盟
- 4 主管 福岡県高等学校体育連盟南部ブロック弓道専門部
- 5 期日 令和2年10月10日(土)
 - (1) 監督会議 令和2年10月10日(土) 8時30分 (場所 近的射場)
 - (2) 競技 令和2年10月10日(土) 9時00分※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開会式および閉会式は行わない。
- 6 会場
 - (1) 全日程 八女市弓道場 (福岡県八女市馬場434)
 - (2) 選手控え場所 八女市総合体育館 剣道場・柔道場
- 7 競技種目 競技の種目、種別、種類及び規格は、次のとおりとする。
 - (1) 種目：近的競技
 - (2) 種別：男子の部・女子の部
 - (3) 種類：個人競技・団体競技
 - (4) 規定：木枠(または適当な材料)直径36cmの震的・直径24cmの星的
- 8 競技規則 (公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則(必携)「2019発行」及び大会要項による。
- 9 競技方法
 - (1) 個人競技及び団体競技は、男女とも次のとおり行う。
 - ア 個人競技
各自4射2立計8射行い計8射の総的中数によって順位を決定する。順位が決まらない場合は射詰めによる順位決定とする。射詰については射詰9本目より八寸的を用いる。2位以下は遠近法による。なお、団体競技に出場する選手については、団体競技的的中をもって個人競技の成績とする。
 - イ 団体競技
各自4射2立計40射を行い、チーム計40射の総的中数によって順位を決定する。4位までに同中のチームが出た場合は各自1射計5射の射詰を行い、的中数によって決する。
 - (2) 競技進行
 - ア 進行係の“始め”の合図までに集合しない時は、「その立」に限りその選手は棄権とする。
 - イ 団体競技において、制限時間は設けないが6分30秒以内に収まるようにすること。
 - ウ 個人競技においては、5人立の2射場とし射場ごとの順次打ち起こしとする。
 - エ 団体競技、個人競技ともに前立ちの選手より先に射離した場合、「その矢」に限り無効とする。
 - (3) 招集
 - ア 第2控において、選手の確認、ゼッケンおよび服装・弓具の点検をする。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本年度は第3控を設置しない。

- イ ゼッケンのない選手については「その立」に限り失権とする。そのために、団体に欠員が生じていても欠員のまま団体とする。なお、個人戦に限り学校名が分かるゼッケンで構わない。

(4) 選手の交代

- ア 団体選手交代は、登録選手以外認めない。
- イ 先発メンバーは登録順に5名とし、選手の交代は監督会議までに2回、予選開始後で2回まで認める。ただし、立順変更は認めない。
- ウ 一人の交代を1回と数える。なお、予選後の順位決定競技については予選2立目のメンバーとする（選手の交代は認めない）。
- エ 選手交代届は所定の用紙に記入し、監督または引率責任者が届け出ること。
- オ 交代をした後、選手に事故が生じて欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
- カ 個人競技の選手変更は認めない。

(5) その他

- ア 取矢ができない選手は、所定の用紙で事前に届け出て許可を得ること。
- イ 諸届用紙（交代届等）については、所定のものを使用すること。

10 選手交代

- (1) 申込書に記載した選手と補欠との交代以外は認めない。
- (2) 選手交代は、「1立目前」および「2立目前」それぞれにつき、補欠1名につき1回とする。なお、「1立目前」とは監督会議終了まで、「2立目前」とは2立目の第2控に集合する前までとする。
- (3) 補欠と交代した選手は、以後補欠として取り扱う。
- (4) 交代については、所定の様式にて提出すること。なお、様式については大会中に本部に取りに来るか、または大会申込書に添付されているものを利用すること。

11 引率・監督

- (1) 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。個人の場合は校長の認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。
- (2) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部講師の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保健）に必ず加入することを条件とする。

12 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加の資格を得た者であること。
- (3) 全日本弓道連盟に登録された者であること。
- (4) 年齢は、2002年（平成14年）4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成を認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等のやむを得ない事由による場合は、弓道専門委員会で調査し高体連会長の承認があればこの限りでない。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。

(10) 参加資格の特例

- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外(3)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技2回限りとする。
- ウ 学年の区分をもうけてある課程に在籍する生徒の出場は、2学年までとする。

(11) 大会参加にあたっては、以下の項目を遵守すること。

- ア 大会当日は各自必ず検温を行うこと。計測した体温を「(別添1)大会参加チェックリスト」に他の質問事項への回答とともに記入の上、来場すること。チェックリストは、引率責任者が毎日来場の際に受付へ提出すること。また、**発熱がある場合やチェックリストに×印がひとつでもつく場合、当人は来場することはできない。**
- イ マスクを持参し、競技中以外は必ず着用すること。
- ウ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- エ 他の参加者、競技役員・補助員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。
- オ 会場では大きな声で会話、応援等を行わないこと。
- カ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- キ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(12) 各校顧問から「(別添2)新型コロナウイルス感染症 感染予防 弓道大会開催にあたっての注意事項」を受け取り、記載内容を把握しておくこと。

(13) 大会の参加に関して、「(別添3)同意書」を各校顧問に提出すること。

※同意書については各学校で保管すること。

(14) 「(別添4)体調確認表(八女市提出用)」を各校顧問に提出すること。

13 参加制限

(1) 各学校からの出場人員は下記の基準による。

ア 団体競技

1校から男子2チーム、女子2チーム以内とする。

イ 個人競技

団体競技の申込みチームが制限チームに満たない場合のみ、男女各4人以内とする。

※男子2チーム出場する学校は男子の個人戦申し込みはできない。

※女子2チーム出場する学校は女子の個人戦申し込みはできない。

(2) 団体競技のチーム編成は、監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とする。

団体競技の補欠選手については補欠として取り扱う。(個人戦には出場しない。)

(3) 個人競技の編成は、監督1名、選手1名の計2名とする。

14 県大会の出場資格

団体戦：成績上位の男子4校・女子4校。同中のチームが出た場合は各自1射計5射の射詰を行い、的中数によって決する。ただし、1校から男子1チーム、女子1チーム以内とするため、上位4校に同じ学校がある場合は5位以下の学校が繰り上がる場合もある。

個人戦：男子5中、女子4中以上の的中を収めた者。

団体戦出場者については団体戦の結果を個人戦の結果として取り扱う。

また、団体戦で県大会出場が決まっている者の中で、個人成績において上記の基準を満たしている場合については、個人権を併せて取得したものとする。

<県大会日程> 令和2年10月17日(土)～18日(日) 於：博多の森弓道場

15 表彰 男女団体・個人とも各3位までを表彰する。

(なお、団体戦1, 2位のチームは個人についても表彰する。)

16 参加申込

※個人情報の取り扱いに関して

大会に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。(下記の17を参照)

(1) 申込書類

公印を捺印した参加申込書：各校1部

「(別添1)大会参加チェックリスト」：大会参加者全員分(教員含む)

「(別添4)体調確認表(八女市提出用)」：大会参加者全員分(教員含む)

(2) 申込方法

ア 各参加校は、以下(4)に示すホームページから参加申込の様式をダウンロードし、参加申込書を1部作成すること。

イ 各参加校は、参加申込書に必要な事項を記入し下記の申込先まで申し込みを行うこと。

ウ その後、上記(1)に記載されている書類を当日持参すること。

(3) 各競技申込先

ア 申込先 大牟田高校 教諭 中原 紳海

E-mail : shinkai.nakahara@ohmuta.ac.jp

イ 申込期限 令和2年10月5日(月) 17:00まで ※締切厳守

ウ 申込期日までにE-mailで送信、

(4) 「福岡県高等学校体育連盟」ホームページ

<http://www.fukuoka-koutairen.com/>

17 個人情報に関する取り扱いについて

※高体連の参加申込みに記載される生徒個人情報について

- 利用目的等 ・大会競技プログラムまたは福岡県高等学校体育連盟ホームページへの記載
・参加資格の確認(年齢・転校等)
・競技成績については学校名・氏名・成績(記録)のみ公表することとする。

参加申込書の提出により、申し込み記載の生徒の個人情報は、上記利用目的に使用する旨の承諾を得たものとする。

18 立順

(1) 競技

ア 男子団体(Aチーム、Bチーム)、男子個人、女子団体(Aチーム、Bチーム)、女子個人の順に行う。

イ 学校順については専門部で検討し決定する。

18 その他

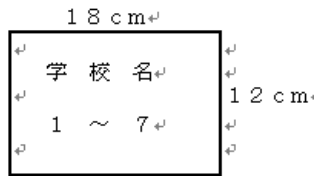
(1) 弓道衣(白)、袴(紺または黒の無地)、白足袋着用のこと。

なお学校指定の制服(下衣)、白シャツ(無地)、白靴下を着用してもよい。
アンダーシャツについては黒・紺・白としハイネックは認めない。

(2) リボン、ヘアピンその他の装身具をつけてはいけない。

(3) 鉢巻を使用する場合は無地(文字は結び目より先は可)、長さは肩までとする。

(4) 下記によるゼッケンを右腰前につける。ゼッケンの番号についてはプログラム記載の番号を着用すること。補欠は6,7とする。個人出場者は学校名がわかればよい



- (5) 弓具に照準、目印をつけてはいけない。矢摺籐の長さは6 cm以上とする。
- (6) 引率責任者のいない学校は出場を認めない。
- (7) 応援はヨシの発声は行わない。その他射技上の指示などしてはならない。また、フラッシュを使用した撮影は禁止する。
- (8) 会場は8時以降にしか開かない。早朝からの場所取りなどは認めない。
- (9) 更衣室での密をさけるため、可能な限り更衣を済ませてから会場に入ること。競技後に帰宅する際も可能な限り競技中の服装で移動すること。必要な場合は更衣室を利用するが、密を作らないよう注意すること。
- (10) ゴミは持ち帰りとする。 各学校とも生徒の指導をお願いします。
- (11) 会場控え場所については、3密を回避するために地区ごとに指定する。
場所は下記の通りとする。
- | | | |
|-------------|----|------------|
| 【大山柳・朝浮羽地区】 | 2階 | 体育館（ステージ側） |
| 【久留米地区】 | 2階 | 体育館（入口側） |
| 【八女地区】 | 1階 | 剣道場 |
| 【大牟田地区】 | 1階 | 柔道場 |

※問合せ先

明善高等学校 教諭 秋本 開成 連絡先：0942-32-5241